
Biz Box ルータ N800

取扱説明書

このたびは、本商品をお買い求めいただきまして、
まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの
うえ、内容を理解してからお使いください。
お読みになったあとも、本商品のそばなどいつ
も手もとにおいて、大切にお使いください。



- **本書の構成と使い方**

本書では、本装置をお使いになる前に知っておいていただきたいことを説明しています。

- **本書の読者と前提知識**

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。

- **読書にならん 撥いス**

目次

1. 製品の構成.....	1
---------------	---



2. 装置概要

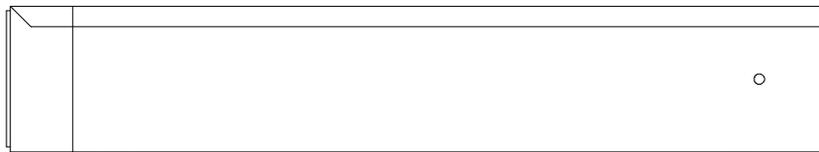
本装置は、1000BASE-T インタフェースを収容し、オフィスユーザ向けにインターネット接続等のサービスを利用したユーザネットワークを構築し、高速なデータ通信を行なうことができます。また、セキュリティ機能により信頼性の高いユーザネットワークが構築できます。

本装置は以下のような特徴があります。

- ・フレッツ 光ネクスト、B フレッツなどの光アクセスサービスが利用できます。また、IP-VPN、広域イーサネット、Internet-VPN が利用できます。
- ・暗号処理/複合処理を高速化する IPsec ハードウェアエンジンを搭載しています。光アクセスサービス使 まん 養工 理。

3. 各部の名称

外觀圖(本体 - 底面圖)



外觀圖(本体 - 底面圖)



4. 接続の手順

スタンドキットを取り付けて設置する条件として以下の内容を厳守してください。

- ・本装置み潰 恩顧 俵容を厳守してく

注意

4.6.イーサネットケーブルの接続



5.2.3. 投入済みコマンドの呼び出し

キー操作により、今までに投入したコマンドを呼び出すことができます。最後に入力したコマンドから新しい順に呼び出すか、古い順から呼び出すことができます。バッファのすべての履歴コマンドを一巡すると、また元のプロンプトに戻ります。呼び出したコマンドは、文字編集が可能です。

再起動すると、コマンド履歴はクリアされます。

`Ctrl + p`、または `■`

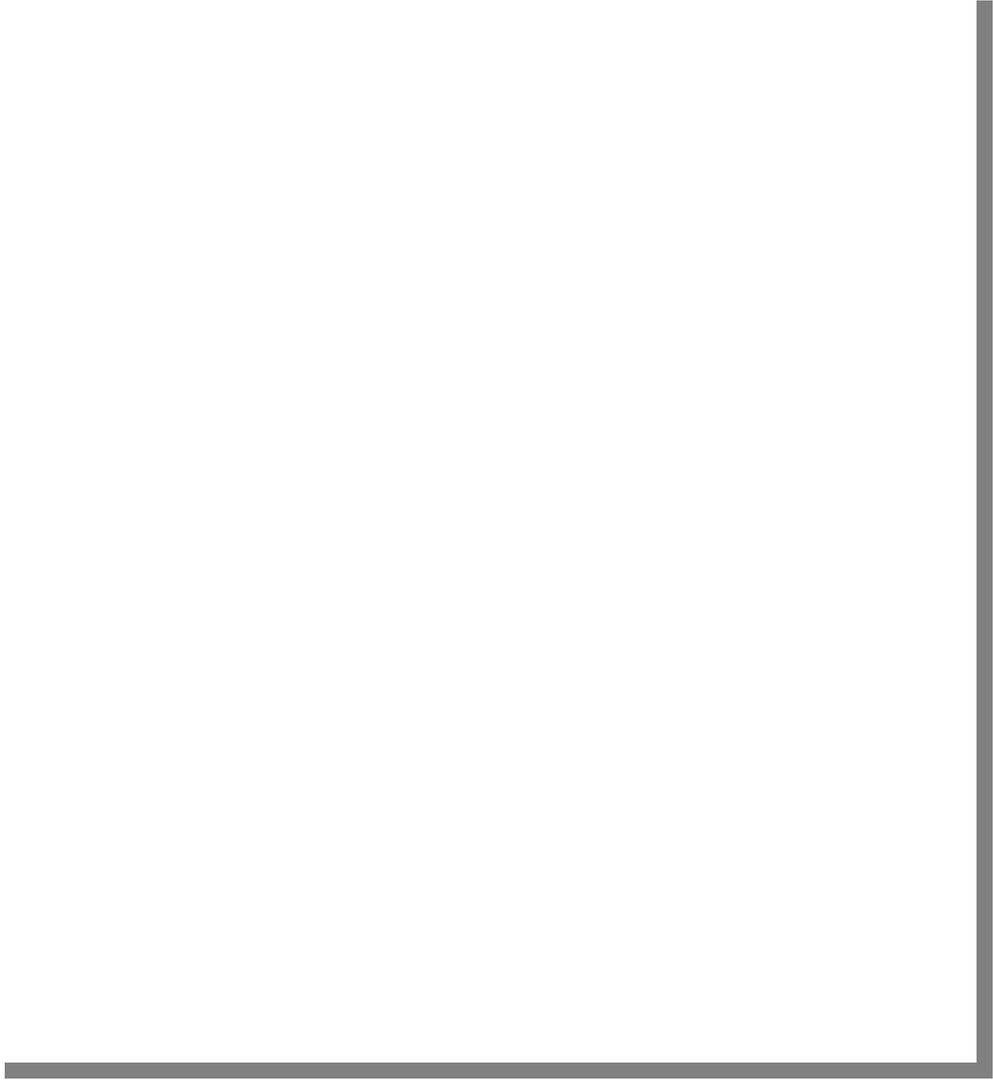
5.3.2. インタフェース表示について

本装置のインタフェースの数字は、それぞれ以下の内容を示しています。またデバイスコンフィグモードでは、「GigaEthernet0」のように論理インタフェース番号は指定しません。



5.5. ソフトウェアと設定データ

5.5.3. スタートアップコンフィグとランニングコンフィグについて













6.2. ポートの動作設定

ポートの動作設定は、使用する環境に合わせて設定します。
ここでは GE0 ポートの例を説明します。

6.2.1. 通信モードの設定方法

通信モードの設定は、デバイスコンフィグモードで行います。
なお、本装置のデフォルトは、通信速度・通信方向ともにオートネゴシエーション(以下、オートネゴと省略します)です。

(1) 通信速度の固定設定

例では、通信速度を 100Mbps に設定しています。

(2) 通信方向の固定設定

例では、通信方向を全二重に設定しています。

(3) 設定の確認

設定した内容を show ipn 玆脗脗 讨 止 in 容を詐 麓 @

ぢ 堤脗 ポー 堤脗 ポー環孔 脳 ポ 钰孔 脗 楚 鏄 埃庇塔楚 颯

藟籃攆 慄 洩鄧獬桃

}
笈 紀

6.3. リモートコンソールのための設定

【ステップ2】設定の確認

(1) IP アドレスの確認



【ステップ4】通信状態の確認

本装置内部およびリモートコンソール間での telnet 通信を確認します。

確認は、IPv4 は ping コマンド、IPv6 は ping6 コマンドで、リモートコンソールの IP アドレスを
0.0.0.0 ping 192.168.0.100
0.0.0.0 ping 2001:db8:0:0:0:0:0:0

国盗 譜

1 月

7.1.1.スタティックルートの設定

(1) 設定

特定のネットワーク(もしくはホストアドレス)を宛先とするパケットの転送先を直接指定します。

例では設定端 B のあるネットワーク B「192.168.1.0/20」を宛先として、ネットワーク B「192.168.1.0/20」に宛先を指定するルートを設定します。

7.2.ルーティング設定 (IPv6 編)



(2) ルーティング設定

デフォルトルートとしてインタフェース GigaEthernet0.1 を指定します。

(3) 端末側ネットワークの設定

端末側インタフェース GigaEthernet1.0 の IP アドレスを設定します。また、NAPT を使って複数台の端末が同時にインターネット接続できるように設定します。

(4) DNS サーバの設定

プロキシ DNS を使用します。DNS サーバのアドレスを固定で使用する場合は、以下のように設定します。

フトによっては、テキストデータをそのまま本装置に送ったりすることも可能です。

8.3.2.メイン/バックアップの切り替え手順

フラッシュメモリ内にプログラムファイルを2個格納している場合、software-select コマンドによりメインで起動するプログラムファイルを選択することができます。

< software-select コマンドの使用方法 >

(1) 前準備

(4) 本装置の再起動

ファン ルーバ

8.4.バージョンアップ手順

software-update コマンドによりバージョンアップを行います。プログラムファイルをダウンロードする際のプロトコルは、HTTP/HTTPS/TFTP をサポートしています。

"

【例 2】フラッシュメモリ内に 2 個のプログラムファイルが格納してある場合

- ・メインのプログラムファイル 「n800-ms-8.6.*.ldc」
- ・バックアップのプログラムファイル 「n800-ms-8.5.*.ldc」

【ステ. 2】新しいプログラムファイルをダウンロードし、プログラムファイルの正常性確認
software-update コマンドを実行し、TFTP サーバからプログラムファイルのダウンロードを行います。
バージョンアップには rap ファイルを使用します。

【ステップ1】アクセスを許可する MIB 番号の設定 (MIB View の設定)

【ステップ5】送出トラップ種別の設定

本製品は、デフォルトで全てのトラップを送出します。特定のトラップを送出しないようにするために



【ステップ1】収集するイベント情報の選択

例では、イベント情報の種別にイーサポート、イベント情報のレベルにエラー検出、鍵、ブ、V

【ステップ1】イベント種

増、畝、欲、鬚鏡

耐ベン、苧、糸鍛壞鯉

拒、観獲痘、ブ

蘇鯽稱尅するウ、

9.困ったときには

9.1.㍑ 亦 働 録

9.4. 起動しないときは

本製品が起動しないときには、以下の項目を確認し、対処してください。

製品前面の ALARM ランプが点灯している場合

10. 保守サービスのご案内
